

# 日本原子力学会核燃料部会

## 平成14年第4回運営委員会議事録

日時:平成14年9月14日(土) 10:05~12:10

場所:いわき明星大学講義館2階 201講義室

出席者(順不同、敬称略):

山脇部会長、大井副部会長、岩田委員、緒方委員、木下委員、河野委員、小林委員、佐藤委員、杉崎委員、松本委員、森山委員、山中委員、米田委員、和田委員

[代理出席] 大槻氏(後藤委員代理)、永瀬氏(上塚委員代理)、磯辺(伊東委員代理)

### 議事

#### 1. 前回議事録の確認

庶務幹事より下記議事録を紹介し、内容確認をおこなった。一部修正の上発行する。

- ・平成14年第3回運営委員会議事録

#### 2. 部会報(平成14年12月発行)の企画について

関電大槻氏より、部会報の企画立案状況について説明があり、以下の点が確認された。

・秋の大会で講演を予定していた、原産 永崎氏の講演資料は、「特別寄稿」または「特別講演」に入れる。

・「国際交流ニュース」と「ニュース」の記事を調整する。

#### 3. 平成14年度夏期セミナー報告

河野委員より、夏期セミナーの収支報告があり了承された。また、セミナー参加者へのアンケート結果、及び部会報に掲載するセミナー報告記事の紹介があった。

#### 4. 平成15年度夏期セミナーについて

原研 永瀬氏より、セミナーの企画状況について報告があった。

開催日:2003年7月10日(木)~12日(土)、場所:妙高パインバレー ロイヤルパインズホテル、とする案で了解された。

#### 5. 春の年会時の企画セッションについて

緒方委員より、これまでに挙げた企画案について、また春の年会時の企画として3部会合同の「日韓中燃料材料セッション」を企画委員会に提案したことが報告された。

以下の点が議論された。

・日韓中セッションに、核燃料分野で誰を招聘するか、早急に決める必要がある。杉崎委員に中心になって頂き、他部会と連携して進める。

・今年の春の年会で実施した、「日韓合同セミナー」との関係を整理する必要がある。

#### 6. 核燃料部会ホームページについて

河野委員より、ホームページの更新状況について報告があった。また、来年以降のホームページ作成、更新の分担案(庶務幹事が原稿作成を担当する項目については、庶務幹事がホームページの作成、更新を担当する)が説明され、了解された。

#### 7. 国際協力について

大井副部会長より以下の報告があった。

・ANS、ENS、日本(将来はアジア)の3極で、燃料パフォーマンス会議を交互開催する件に関し、MOUのサインが完了した。2005年に東京で開催予定の会議に向け、年末までに Organization Committee、Technical Program Committeeの人選を詰める必要がある。

・日韓合同の燃料、材料セミナーに関し、韓国側より10月24-25日に開催されるKNSの秋の大会で、燃料・被覆管の共同セッション(日韓それぞれ3~4件ずつ)を行いたいとの招待があった。

→どなたを派遣するか、早急に決定する必要あり。次のテーマと講演者が候補として議論された。

- ・安全(上塚委員) ←その後の調整で、参加不可能となった。
- ・高燃焼度燃料(木下委員)
- ・被覆管(杉崎委員or山中委員)
- ・燃料のパフォーマンスとR&D(大井副部会長)

## 8. 部会収支について

庶務幹事より、平成14年度部会収支中間報告[別紙1]をおこなった。

来年度以降、収入を得るための企画を検討すべき、との意見が出された。

## 9. 今後の予定(平成15年)

以下の予定が報告され確認された。

- ・第1回運営委員会 :平成15年1月頃(別途ご案内)
- ・第2回運営委員会と会員総会  
:平成15年3月27日~29日 春の年会時(アルカスSASEBO)
- ・第3回運営委員会 :平成15年7月10日~12日 夏期セミナー時(新潟県)
- ・第4回運営委員会と会員総会  
:平成15年9月24日~26日 秋の大会時(静岡大学)

以上

## [別紙1]

平成14年度(核燃料)部会収支中間報告 (H14. 8. 31現在)

(単位:円)

	科 目	H14年度実績	予算策定時 想定額	備 考
収入	前年度予算繰越金	366,626	337,159	
	配付金収入	395,000	395,000	8月末時点での各部会会員数に応じて 比例配分
	会費	—	—	
	寄付金・賛助金収入	—	—	
	セミナーテキスト売上	1,800	—	
	セミナー残金	70,177	320,000	実績は未入金だが確定値
	合 計	833,603	1,052,159	

	科 目	H14年度実績 (8/31現在)	年度末 想定額	備 考
支出	会議費	—	—	
	通信費、発送費	87, 554	190, 000	実績は会報 (No.37) 発送費
	会報印刷費	134, 400	275, 000	実績は会報 (No.37) 印刷費
	ニュース印刷費	—	—	
	雑印刷費	—	—	
	セミナー補助金	—	—	
	会員事務管理費	60, 000	60, 000	オフコンリース料 (@5, 000×12ヶ月)
	講師謝金、旅費	0	10, 000	春の年会での講師懇親会参加費を想定
	記念品作成費等	0	—	
	その他	—	—	
	予備費	—	40, 000	春の年会での企画セッション資料印刷費を 想定
	合 計	281, 954	575, 000	
	収支差額	(551, 649)	(258, 603)	

過去の運営委員会議事録の一覧はこちらです。

[過去の運営委員会議事録一覧](#)

[もどる](#)